



国際口腔医療ネットワーク
International Oral Medical Network

35名限定

第89回例会

2019.7.27 (土) 19:00~21:00 (終了後、懇親会有り)

対象／医療関係者 参加料／2,000円 (研修医・学生無料)

※当日受付にてお支払いください。(受付にて領収書を発行致します)

IOMは大森・東京歯科口腔外科、理事長新保悟を中心として、口腔医療に携わる全ての人達で作るスタディグループです。オープンな勉強会ですので、どなたでも気軽にご参加いただけます。どうぞ、お知り合いの先生もお誘い合わせの上、奮ってご参加ください。※テーマは毎月変わります。

第89回 演者 大谷 一紀先生

大谷 歯科クリニック 院長



1997年 日本大学歯学部卒業
1997年 日本大学歯学部歯科補綴学III講座
2012年 大谷歯科クリニック院長

歯学博士
日本補綴歯科学会専門医
日本顎咬合学会認定医
日本歯科理工学会会員
スタディグループ Esthetic Explorers 会長

講演内容

「個々の患者ニーズに応える
審美修復治療」

～ダイレクトボンディングの勘所と
接着ブリッジの可能性～

審美修復治療で有名な同先生に、下記2項目について、ご講演頂きます。

- ①自然感のあるダイレクトボンディング
臨床術式、自費診療の導入
- ②接着ブリッジの可能性
接着ブリッジで重要な「補綴設計・
接着操作・予後」

※抄録は裏面記載

会場

Luz大森 4F 入新井集会室
東京都大田区大森北1-10-14

お申し込み (お問合わせ)

IOM事務局／大森・東京歯科口腔外科
担当: 安田
TEL／FAX／E-mailで承ります。

- TEL: 03-5767-7505
- FAX: 03-5767-7508
- E-mail: soushinkai.yasuda@gmail.com
- HP: <http://iom-dental.net/>

Facebook

当スタディグループのページ有り。【IOM】でご検索下さい。
Facebook上でも同イベントの申込を受けつけております。



第89回に参加 / 不参加

次回以降の案内 希望 / 希望しない

懇親会に参加 / 不参加
(会場近隣店にて 5,000円程度)

貴院/貴技工所/貴社名

ご参加者名

E-mail

ご住所 〒

TEL ()

FAX ()

第89回IOM抄録

大谷 一紀

個々の患者ニーズに応える審美修復治療 ～ダイレクトボンディングの勘所と接着ブリッジの可能性～

現代のコンポジットレジン修復(以下、CR修復)には2つの役割があると考える。

まずは**MI** の概念に則ったカリオロジー的側面における役割があげられる。

FDIが提唱するMIの概念の要旨は「①う蝕に対する再石灰化、②う蝕病原性細菌の管理・予防、③歯質保存的な接着修復の優先」である。そのなかで、CR修復は③における不可逆的なう蝕に対する第一の処置であり、これによって(1)健全歯質の可及的な保存が可能であり、(2)歯髄への刺激を軽減できることなどから、結果として「歯の延命」が可能になると考えている。

次に、**審美・機能性回復**の役割がある。

コンポジットレジンの性能が進化した現在では、CR修復であっても明度・形態・表面性状を調和させることで高い審美性の回復が可能となり、保険診療だけでなく自費診療で行うこともある。

本講演では、**充填テクニックを中心に、自然感のあるダイレクトボンディングを成功させるための臨床術式および自費診療で行うダイレクトボンディングの導入**についてお話したい。

また近年、前歯部欠損症例で外科処置(インプラント)あるいは**健全歯質の切削(従来型3ユニットブリッジ)**に抵抗のある患者に対して積極的に臨床応用している**オールセラミック材料を用いた接着ブリッジを成功させるために重要な「補綴設計・接着操作・予後」**についても紹介したいと思います。